

ボランティア OSAKA



2001
WINTER

●発行●

(福)大阪府社会福祉協議会
大阪府ボランティアセンター

特集

ボランティア国際年記念
50人からの一言メッセージ
私にとってボランティアとは
●市町村ボラ連「Vサイン」No.12



「ふれあい広場・ねんりんピックステージ」& 「第9回おおさかボランティアフェスティバル」 華やかに開催!



ふれあい広場 ねんりんピックステージ イベントスケジュール		
④	⑤	⑥
10:00	10:00	10:00
10:05	10:05	10:05
10:10	10:10	10:10
10:15	10:15	10:15
10:20	10:20	10:20
10:25	10:25	10:25
10:30	10:30	10:30
10:35	10:35	10:35
10:40	10:40	10:40
10:45	10:45	10:45
10:50	10:50	10:50
10:55	10:55	10:55
11:00	11:00	11:00
11:05	11:05	11:05
11:10	11:10	11:10
11:15	11:15	11:15
11:20	11:20	11:20
11:25	11:25	11:25
11:30	11:30	11:30
11:35	11:35	11:35
11:40	11:40	11:40
11:45	11:45	11:45
11:50	11:50	11:50
11:55	11:55	11:55
12:00	12:00	12:00



一方、ステージそばで開催された「第9回おおさかボランティアフェスティバル」は国際交流、自然環境、福祉・保健など、さまざまな分野で活躍している大阪のボランティア団体がテント出展し、その多彩な活動を広く府民にアピール。パネル展示やバザー、また、高齢者疑似体験など内容は盛りだくさんで、深まりゆく秋の3日間、「子どもからお年寄りまで、世代や地域を超えて楽しい交流を深めました。」

懐かしの大道芸や「スペル」「ンサー」、さらにボランティアグループによる演劇やハンドベル演奏があり、パワフル、ハートフルな3日間のステージがくり広げられました。

昨年の11月4日～6日の3日間、「ねんりんピック2000大阪」に併せて、大阪城公園・太陽の広場において「ふれあい広場・ねんりんピックステージ」と「第9回おおさかボランティアフェスティバル」が盛大に開催されました。

中田武仁・国連ボランティア名誉大使の開会宣言で幕を開けた「ふれあい広場・ねんりんピックステージ」では、大阪を拠点に活動するボランティア団体や、プロ歌手による華やかなライブがくり広げられました。初日の中日(土)は紙ふうせんのお一人をはじめ、和太鼓演奏やインンド舞踏、笑いの素人名人会やファミリー「ンサー」などが。翌5日(日)は管弦楽演奏、手話落語、ファンションショー、お笑い講座、車いすダンス、そして手話を交えた女性3人の「ラスグルーブ」「ユーリー」、新世界の歌姫と人気を集め叶麗子さんの歌が披露されました。また最終日の中日(月)は、懐かしの大道芸や「スペル」「ンサー」、さらにボランティアグループによる演劇やハンドベル演奏があり、パワフル、ハートフルな3日間のステージがくり広げられました。

ひとこと
50人からの一言メッセージ
**私にとって
ボランティアとは**



2001年はボランティア国際年。そこで今回は、各界でご活躍の皆様にご登場いただき、それぞれのボランティア論・ボランティア観を語っていただきました。皆さんには、質問1として「あなたにとってボランティアとは？」とお尋ねし、質問2として「現在、携わっておられるボランティア活動があれば、活動の内容を簡単にお教え下さい」とお願いし、回答していただきました。明らかな誤字脱字以外は編集をせず、原文のまま掲載させていただいていますが、ご協力いただいた皆さんには心からお礼申し上げます。…というわけで、今年はボランティア国際年。例年にも増して、多彩な分野でのボランティア活動がさらに広がっていくことを期待したいものです。

A1 困っている人を放つておけない、何かお手伝いしましようかという気持ちを、色々な人と手を取り合って実行に移してきました。すると気心の知れた良いお友達がたくさんできました。少し長くやってきたので自然にお節介が身についた様です。

A2 現在はボランティア連絡会の中にいて、視力障害者へのテープ録音のサービス、心配事相談（面接と電話）、社協のバザーのお手伝い、施設に送る雑巾づくり、小地域ネットワーク活動で一人暮らし高齢者の見守り等をしています。

大阪府市町村ボランティア連絡会会長／高石市ボランティア連絡会会长
大杉 貞子（72歳）



A1 朗読ボランティアを始めて16年、今は生活の一部として定着しています。誰かのためにしてあげるのではなく、他人を認め、自分のできる範囲で自己を高めつつ、無理なく楽しく継続してやることに意義がある。

A2 毎月、声の広報ふじいで、テープ雑誌ひびき、天声人語、盲人文芸サークル川柳誌・水仙をテープ化し、視力障害の方に送付。対面朗読、テープ図書作成、朗読発表会、図書館行事に協力、子どもたちに紙芝居や本の読み聞かせ。

藤井寺市朗読の会ひびき／大阪府朗読ボランティア交流推進委員会会長
辻 美穂子（55歳）

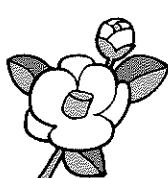
A1 私は自治体職員という立場にあることから、一般的にボランティアとして行っているようなことでも、仕事の延長線上からどうしても抜けきれないことが多い。例えば、現在直接職務内容について、土曜日や午後7時から市民グループの方に呼ばれて、話をすることが多い。

これは、ボランティアと言えばそうとも言えるし、広く言えば仕事の範疇とも言える。私としては、これをずっとしかし、私としては、これをずっと（定年後も）続けていきたいと思つてゐる。

地方公務員
荒川 俊雄（54歳）

A1 私が思うボランティアは、だれかの手を借りたい人に手を差しのべることだと思います。これは、決して特別ではなく、あたりまえのことだと思います。

A2 母が手話サークルに入っていて耳の不自由な人とも知り合いで、まだまだ通訳はできないけど、でも少しはそういう人たちの役に立っていると思います。これからも自然にボランティアができるらしいと思います。


山直南保育園長
坂本 道子（57歳）

A1 ボランティア活動を通じて新たな人との出会いが得られること。ボランティア活動は無償が原則ですが、活動を通じて感謝の気持を表現される時が多い。例えば、現在直接職務内容金銭に換えがたい何よりの喜びを感じます。このように出会いを大切に心の交流を深めて行くことを目標に頑張っています。

A2 ホームヘルパー養成研修会の修了受入れをしています。高校・短大・大学生の方々が中心です。私たち職員と共にいい汗流してこどもたちへの遊び、生活のお手伝いを願い、若者たちに社会参加の喜びを体験してもらっています。

北垣 登美（65歳）

A1 自分から人や自然に関わり、お互に持ちつ持たれつしながら、暮らしやすい環境づくりの仲間になること。

A2 目の不自由な人への情報提供です。

市の広報・議会だより・社協広報などを取材編集し、町の話題等を入れたテープ雑誌を発行しています。依頼図書も読みます。

朗読ボランティア泉大津あめんば代表
近藤 裕子

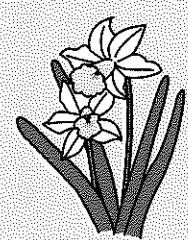
藤井寺小学校6年

土堤内 ゆか（12歳）

50人からの一言メッセージ
私にとつてボランティアとは

A1 気がついたらいろんな障害のある仲間たちの中に自分がいた……たくさんの友と歩いてきました25～26年間を考えても、ボランティア活動としてやつてきましたつもりはありませんね。

26年間を考えてみても、ボランティア活動としてなすべき自然な行為であるべきだと思います。



A1 ボランティアとは、生活のための仕事や普段の生活と離れた特別なものではなく、日常生活の中にある「人」としてなすべき自然な行為であるべきだと思います。

A2 スポーツ一辺倒からボランティアも担当することになつて丸3年。ボランティアもスポーツと同様、「自分が楽しむ夢」がベースにあり、そこから仲間や友達の輪が日本中だけでなく世界中に広がっていくことが嬉しい。

A2 第5回 藤井寺ふくしまつり実行委員会 実行委員長
・南大阪パートナーシップまちづくり研究会 会員

・藤井寺市国際交流協会 理事
(平成12年6月)14区衆議院議員候補者を知る会 幹事

A2 特にありませんが、私自身にできることがあればお手伝いするという毎日です。

(株)タナカ代表取締役
田中 成美(41歳)

A1 私は脳卒中の後遺症者で、車椅子で言語にも障害のある社会的弱者ですが、ボランティアとして同病者を支援しています。

祭車椅子ダンス演技)地域と密接な共生関係が築けました。(なお、ねんりんピック2000大阪のステージでハンドベル演奏)

脳卒中者の会「いきいき友の会」会長
藤崎 和夫(74歳)

A1 私は脳卒中の後遺症者で、車椅子で言語にも障害のある社会的弱者ですが、ボランティアとして同病者を支援しています。

福祉者同士の仲間感覚で心を開き、プラス思考になり、自助努力で社会参加も果たして共に喜んだ成果は、当事者こそボランティアに適していると自信負しています。



A2 知的障害者の授産関係の事業の後方支援をしています。仕事は、子ども関係ですが、障害者の性の問題と、高齢者の死の問題への福祉的な答えを探し続けています。



A2 「いきいき友の会」脳卒中者と介護者が主体の会を平成6年1月に創立。障害者が主体的に企画、運営し、親睦から出発し、会報で情報提供(80号)になる。

プラス思考で、自立を目指して社会行事に参加し(敬老会ベル演奏、体育

大阪市立大学助教授

山縣 文治(46歳)

(株)かんでんジョイライフ課長代理
河村 良司(30歳)

A2 三洋電機のボランティアの全国組織である中央ボランティア推進委員会(労使で推進)事務局で全社キャンペーンの企画を担当。

昨年からマレーシア・サラワク州イベン族の人たちと協働で水供給システムの設置プログラムを進めています。

三洋電機(株)文化・スポーツ推進グループマネージャー

宇治 収(51歳)

A2 福祉の仕事をすることになったきっかけ。高校時代、下宿の近くの子どもたちの放課後活動に関わったのがスタートです。今の私は、ボランティア活動は、仕事を活性化させる源になっています。

A2 (財)日本自然保護協会の自然観察指導員として活動しています。主に皆さんを身近な山に「ご招待」し、動植物の名前にとらわれず、あるがままの姿を観察し紹介することを通じて、皆さんが自然に親しめるきっかけ作りのお手伝いをしていきます。

A 端的に言えば、「受ける側の気持ちを考えた上で実践する思いやりの延長」とでも表現できるでしょうか?自然の中では、皆さんをお互いにとても素直な気持ちで触れ合えるので、若い私にとっては逆にかけがえのない人生勉強の時間になっています。

また「受ける側の」とは、ボランティアと言つても提供する側と受ける側の意志疎通があつてこそ気持ち良く成り立つものであり、受ける側の気持ちを尊重して実践する思いやりこそ理想であるという想いを込めています。ボランティア人口の増加により、最近そうではないケースにも出会いますが、ボランティアに携わる側も自己満足で終わることなく、互いに「ありがとうございます」の気持ちで心が繋がれば最高です。

A1 ボランティアをすると、もしそれをしていなければお目にかかるないような魅力的な方たちとの人間関係が広がりますね。とくに障害のある人たちとの交流は、自分自身を成長させてくれる気がします。ボランティアをするまでは、街で車椅子の人を見かけても、何をすればいいのか分からんでいました。何かをしてあげたい気持ちはあります。でも、「かえつて迷惑なんじゃないかな」とか考えてしまうんですね。でも一度接してみれば、フツーに付き合えぱいいんだってことが分かってくる。そして友だちの輪がどんどん広がっていく。今ではなんの気負いもなく友だち付き合いができますが、そんな自分が誇らしくもあります。知らない世界

を知るつて、本当に素敵なことです。

A2 今は「えーぜつとの会」という障害者グループのペーカリー部門でアルバイトをしながら、大阪ボランティア協会のアソシエーターとしてさまざま

な活動をしています。バザーなども長くやってきましたが、老若男女、実際にいろんな人と話をし、酒を飲み、遊んできました。こうした活動は、何ものにも代え難い自分自身の財産です。

A1 活動先で「勇気と活力」をもらっています。状況に応じて精一杯頑張つておられる姿にいつも感動しています。自分ではボランティアとは思っていません。自分自身の生き方を勉強させてもらっています。それ以上に施設の先生方に頭が下がります。

A2 普段余り意識することはあります。しかし、ボーリスカウトの年中行事で川の清掃奉仕が1年に1回あり、自然と参加できるようになりました。豊中地区は毎年夏に千里川を継続して清掃し、魚も放流してきたせいか、目に見えて川がきれいになりました。こうなつてみるとボランティアも参加したいがあるものだと思えるようになりました。

A1 車椅子で外出介助、引越手伝い、古切手・アルミ缶収集、地域活動で茨木市ボランティア連絡会会长の大藪 幸雄(50歳)

A2 ボーリスカウトでビーバー隊の副長を務めるようになつてまる5年が経過しました。これも広い意味ではボランティア活動ですね。仕事が忙しい時は参加しづらかつたり、休むことがあるのですが、長くやればやるほど同志であるリーダーの苦労もわかり、連帯感も生まれ、ますます抜けられなくなつていくようです。それと色々な子どもたちに接することができ、ハイキングなどで喜ぶ顔を見るのも楽しみであり、家庭や学校とは一味違う世界をお互いに味わうことができるメリットもあります。そうなるとボランティアをしてるという意識は殆どなくなっています。

特定非営利活動法人
国際友好協会副理事
岸野 友美子(49歳)

飲食店経営

井手 美和子(53歳)

日東メディカル(株)統括部部長
数瀬 能孝(48歳)



NPO法人 国際友好協会の仕事
PTA会長
地域の小・中学校の手話講師
・地区福祉委員
特定非営利活動法人
国際友好協会副理事
岸野 友美子(49歳)



関西奇術連合会副会長
アベノYMCアマジッククラブ代表
栗田 克彦(60歳)

今までボランティア活動とは縁がありませんでしたが、少なくとも「経済的にも時間的にも余裕のある人がやるもの」といった今までの見方が、どうやら偏見であったような気がしています。

A1 金銭的にメリットはない! その割に、肉体的、精神的にも疲れることが多い。がしかし、一つの事業(仕事)を取りかかり完成したあとでの心の豊かさ、一つずつが自分自身の大きな財産になつていることを毎回感じる(いつも楽しんでいる)。

A2 奇術を通してふれあいの場をもつています。府・市社会福祉協議会から依頼のイベント、障害施設等の催し、地域の敬老会等、その他。

これまでボランティア活動とは縁がありませんでしたが、少なくとも「経済的にも時間的にも余裕のある人がやるもの」といった今までの見方が、どうやら偏見であったような気がしています。

ボランティアをすると、もしそれをしていなければお目にかかるないような魅力的な方たちとの人間関係が広がりますね。とくに障害のある人たちとの交流は、自分自身を成長させてくれる気がします。ボランティアをするまでは、街で車椅子の人を見かけても、何をすればいいのか分からんでいました。何かをしてあげたい気持ちはあります。でも、「かえつて迷惑なんじゃないかな」とか考えてしまうんですね。でも一度接してみれば、フツーに付き合えぱいいんだってことが分かってくる。

えーぜつとの会スタッフ
黒本 光広

大藪 幸雄(50歳)

A1 活動先で「勇気と活力」をもらっています。状況に応じて精一杯頑張つておられる姿にいつも感動しています。自分ではボランティアとは思っていません。自分自身の生き方を勉強させてもらっています。それ以上に施設の先生方に頭が下がります。

A2 ボーリスカウトでビーバー隊の副長を務めるようになつてまる5年が経過しました。これも広い意味ではボランティア活動ですね。仕事が忙しい時は参加しづらかつたり、休むことがあるのですが、長くやればやるほど同志であるリーダーの苦労もわかり、連帯感も生まれ、ますます抜けられなくなつていくようです。それと色々な子どもたちに接することができ、ハイキングなどで喜ぶ顔を見るのも楽しみであり、家庭や学校とは一味違う世界をお互いに味わうことができるメリットもあります。そうなるとボランティアをしてるという意識は殆どなくなっています。

A1 車椅子で外出介助、引越手伝い、古切手・アルミ缶収集、地域活動で茨木市ボランティア連絡会会长の大藪 幸雄(50歳)

A2 奇術を通してふれあいの場をもつています。府・市社会福祉協議会から依頼のイベント、障害施設等の催し、地域の敬老会等、その他。

ボーリスカウトでビーバー隊の副長を務めるようになつてまる5年が経過しました。これも広い意味ではボランティア活動ですね。仕事が忙しい時は参加しづらかつたり、休むことがあるのですが、長くやればやるほど同志であるリーダーの苦労もわかり、連帯感も生まれ、ますます抜けられなくなつていくようです。それと色々な子どもたちに接することができ、ハイキングなどで喜ぶ顔を見るのも楽しみであり、家庭や学校とは一味違う世界をお互いに味わうことができるメリットもあります。そうなるとボランティアをしてるという意識は殆どなくなっています。

A1 活動先で「勇気と活力」をもらっています。状況に応じて精一杯頑張つておられる姿にいつも感動しています。自分ではボランティアとは思っていません。自分自身の生き方を勉強させてもらっています。それ以上に施設の先生方に頭が下がります。

A2 ボーリスカウトでビーバー隊の副長を務めるようになつてまる5年が経過しました。これも広い意味ではボランティア活動ですね。仕事が忙しい時は参加しづらかつたり、休むことがあるのですが、長くやればやるほど同志であるリーダーの苦労もわかり、連帯感も生まれ、ますます抜けられなくなつていくようです。それと色々な子どもたちに接することができ、ハイキングなどで喜ぶ顔を見るのも楽しみであり、家庭や学校とは一味違う世界をお互いに味わうことができるメリットもあります。そうなるとボランティアをしてるという意識は殆どなくなっています。

A1 「豊かな関係」づくり

経済中心主義の競争社会は、希薄な人間関係をつくりがちである。競争社会も共生社会も必要、そのバランスを考えながら、ボランティアやNPOの市民活動によつて、豊かな関係性が地域に根づくことを期待する（豊かな関係が根づくためには、地域社会に種々のしくみが根づくことが必要）。

A2 企業の社会貢献活動推進、社員のボランティア活動支援のため、年

A1 自己満足ではなく、たくさんの人達に楽しんで頂き、自分も楽しんでやつていくこと。
私の場合は、太鼓担当でどこまで“を掛け声に、和太鼓をとおして、色々な人に和太鼓を知つてもらい、また楽しんでもらうようにチームで練習し、上手くなり、また「雅」の大鼓が聞きたい、聞けば元気になるという声が頂けるよう芸を磨き、和太鼓で、人と人の輪をつないでいくこと。

A2 特別養護老人ホーム・老人会・小学校での演奏会及び指導、中学校の選択授業での講習、府立高校の文化祭指導、知的障害者施設への慰問、ねんりんピックイベント参加、大阪オリンピック招致活動、成人式式典（新成人に指導して「雅」と一緒にオープニングに参加）。
このように自分たちだけの太鼓では

問100～200件の福祉、国際交

流・協力、自然環境、芸術文化、歴史等のイベント活動を、社協、NPO、NGO、ボランティア団体と協働で展

開（個人的には、中学時代のラグビー恩師—身障1級・要介護4—の介護、相談、話し相手ボランティアを週1回実施）。

大阪ガス（株）いきいき市民推進室

松井 淳太郎

A1 寄付することも大切なボランティア活動。府民すべてがボランティアとして支援下さる赤い羽根共同募金。

寄付にかぎらず、誰もがいつでも参加できる身近なボランティア活動がいっぱいあるし、「私もでることはあらるし、気負わずに参加したいと思つる」、気負わずに参加したいと思つる。

A2 大好きな茶道を通じてお役にと、ささやかな活動であるが、老人ホームでの月1回の呈茶を始めて20年になる。本年は「ボランティア国際年」。福祉施設や国際交流など茶道を通じて活動されている方々と交流し、一緒に何かさせていただけたらと願つています。

A1 活動を通じて一人ひとりがゆるやかに繋がつていき、これから社会を大きく変える可能性を持つていて、自分の価値観を問い合わせるものだと思います。一方で、社会サービスの担い手としては、危うさも含まれていると思います。

A2 過去に、幼児の遊び相手グループの一人として、月に一度、近郊の公園で一緒に遊んでいました。

堺市在住

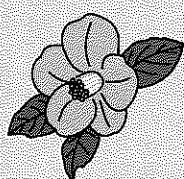
平山 健次郎（33歳）

A1 介護専門誌の仕事で「ボランティアってなに？」みたいな連載企画をたて、いろんな人に執筆をお願いしたのが、私とボランティアの最初の出会いでした。大阪ボランティア協会の早瀬さんの「ボランティア恋愛」論に、わからないながらも強く共感したのを感じています。実際にボランティアらしき活動をしたのは、まもなく起つた阪神・淡路大震災のとき。いま思えば、異常に興奮していたような。その時のなんともいえない充足感に味をしき、なんやらかんやら首をつつこんでました。ここ数年でした。そうですねえ。

自分の生活とか、可能性とか、感受性とか、喜びとか、ときには悲しみも：少し強めてくれる存在かなあ。でも、それは結果論であつて、お金とか立場とかとつぱらつたところで、近づいてみた、動いてみた、これつてボランティア？というのが実感です。

A2 関わっているNGOの活動に関連して、なんだかんだ動いています。勉強になります。ブー太郎をしていたとき、障害を持つ人が集まつて暮らしていらっしゃるお家へ、週1で夕食をつくりに行っていました。楽しかったです。その他、いろいろ。飽きっぽいのが玉に傷です…。

守口市在住
新 英子



A いろいろなボランティア活動は大きな力になっていると思いますが、特定の人だけじゃなく、社会生活の中で一人ひとりがもう少しのやさしさ思いやりを持って生きていけたらと思っています。

A2 介護センター、自立センター、その他福祉施設や学校などにお伺いして、歌、手話、ダンスをアレンジしたステージをさせて頂いたり、みんなと一緒に歌ったり、手話したり、音楽を通して触れ合える活動をしています。

PUR（ピュール）メンバー
瀧田 祐見子
重川 美衣子
村田 みゆき



A 自発的に奉仕すること。自らも楽しむことが必要。依頼されても「好きでやっている」との認識からか温度差を感じ定着しているとは思えない。ボランティアを支えるのは人と人の交流から生まれる喜びだと思います。

A2 企業内クラブの「お笑い研究会」と、そこから影響を受け発足した八尾市民と市職員で創った「八尾お笑いステージ」で問答を中心に活動を続けています。ただすべての要望にお応えできなのが残念です。

八光信用金庫お笑い研究会／八尾お笑いステージ監督
山本 正（53歳）

A1 人は生きている限り、常に自己を高める努力を。学び得ることを活かし、少しでも社会へお返し（報恩）が出来れば。

A2 特養老人施設、入居者の方々のお話相手、外出介助、工作クラブ、補修等、作業所施設と病院のデイケアのメンバーさんとの交流・活動（精神保健福祉ボランティア）、お出かけ介助、移送ボランティアで活躍中。

東大阪市ボランティア連絡会副会長
中島 恒夫

堺市中途失聴・難聴者協会会長
岡本 陽子（49歳）

主婦

北川 洋子（50歳）

A 「ボランティアをしている」と大上段に構えているのではなく、「出来る人が、出来る時に、出来ること」をしてやっている」との認識からか温度差モットーに、私たちは居住地域の清掃と街路沿いに花壇作りをしています。

見る人も、作る人も共に楽しんでしていることが、結果的に環境浄化に役立つていることに喜びを感じています。

門真市みどり会代表
網谷 朝代



八老劇団脚本・演出
浜田 還子（60歳）

網谷 朝代

A1 結婚して専業主婦になつて以来、育児や家事に追われ、社会に出て活動するチャンスがほとんどありませんでした。ボランティア活動に興味がなかつたわけではありませんが、今まで深く追求して考える機会が少なかつたように思います。ふたりの子どもたちも中学・高校生となり、子育てが一段落した今、ボランティア活動を通じて再び社会参加していきたいと思っています。

A2 私自身、聴覚障害者ですが、堺市の中途失聴・難聴者の皆様と一緒に活動を楽しんでいます。健聴者にはわからない、中途失聴・難聴という障害を（高齢者の方も含めて）、社会にもっと理解してもらうためにがんばっています。

とくにお年寄りの方に対するケアに関しては、老齢期を迎えた両親のことや、いずれ自分もそういう時期を迎えるのだと考えると、とても他人事では済ませられないような気がします。直なところ、何から手をつけていいのかまだよくわかりませんが、まず「考えること」がすべての始まりではないでしょうか。

A1 自己満足にならず、他の人々に、喜び、感動を与える活動をすること。

A2 結成27年の老人ばかりの劇団。平均年齢が77歳。寸劇からミュージカルまで、すべて手造りで楽しみながら、観客にシルバーパワーをアピールする。

50人からの一言メッセージ 私にとってボランティアとは

A1 私にとってボランティアとは、生きがないであり、自分を磨かせていたい場です。ボランティアをさせていたくことにより、多くの方々とのつながりができ、私の心も豊かになります。

A2 ボランティアさんごじゅの会として、独居老人で福祉電話が設置されている方に、週1回程度、電話をかけ安否を確かめる友愛訪問をしています。

大東市社会福祉協議会登録ボランティア／大東市ボランティア団体連絡会会長／大東市ボランティア情報紙編集委員長

山田 雪枝（68歳）

A1 「自分自身の歩みの中で無茶に走らないように足踏みしなければ、信号もあるんだ」と言い聞かせる時間であり、心にゆとりを持ち、その気持ち大切にしてその場に接することができる。

四条畷市ボランティア連絡会
竹村 和枝

高齢者外出介助の会代表
永井 佳子（59歳）

A1 米国の弁護士の世界にプロボノという言葉があります。「よき公共のために」というラテン語の略語です。NPOのボランタリーな場面で専門職が必要な際に協力でなければ、それが私のプロボノ活動と考えています。大阪



NPOセンターで主宰するNPOたすけ隊はそんな専門職の集団です。

大阪NPOセンター監事・弁護士
三木 秀夫（45歳）

A1 ボランティアとの出会いは、自分を見つめる時間と機会、学びの時を与えてもらっているとしみじみ感じるようになりました。私ならじけてしまいました。私がなんとか生きていける逆境におられても、強くたくましく生きておられる姿に私も!と勇気をもらっています。

コリアボランティア協会代表代理
山田 桃子（50歳）



A2 自宅で生活されているお年寄りは、交通の不便さや町中を歩く不安から閉じこもり、外出を控えられたりします。お年寄りに安心して外出を楽しんでいただこうと同行援助活動しています。また、外出目的づくりにコンサートなども開いています。

社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事
太田 昌也（52歳）

A1 人は自分を肯定する心と否定する心の狭間で常に揺れ動いています。ボランティアは自己の殻を破り本音が出せる機会でもあります。その自分が探しの行為は他者への愛に繋がる、社会における潤滑油の役目を果たしています。

高倉小学校2年
山本 真璃



A1 非常勤の常務理事という中途半端な役割を統けているのはなぜ? 仕事ではなく、さりとてボランティアでもなく。結局のところは、「楽しく酒を酌み交わす友があり、論議を戦わせる仲間があり、志を同じくした人たちがいるから」と答えるしかないのでしょうか。

A2 大阪ボランティア協会という民間のボランティアセンターの経営(つまり理事としての本来的な仕事)、セレモニー要員、スタッフ研修、外部での講演、その他もろの雑務一般といつたところでしようか。

A1 ほらかこのいきいき学習かつどうで、いつもあそんでいます。そこには耳のふじゅうなお友だちもいて、先生から手話を教えてもらいました。手話をつかうとちゃんとお話しができて、いっぱいあそべるのでとてもなかよしになりました。まだあまりじょうずじゃないので、もっとたくさんべんきょうして、もつとなかよしになれたらいいなとおもいます。

A1 一人では何も出来ない。しかしその一人がしなければ何も出来ない。微力ながらその一人になろう。ボランティアは自分自身の為にするのだから。ボランティアは奉仕活動ではなく、自分自身の生きがい活動である。

A2 「老いを地域で支える」をスロー ガンとし、地域住民のボランティアが主体となり、家に閉じこもりがちの虚弱な高齢者に集団の場を提供し、対人交流を活性化させながら、リハビリとフリープログラムのデイケアをしている。

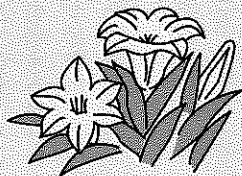
大阪府羽曳野市羽曳ヶ丘ゆうゆうクラブ
を支える会会長 原田 恵美子



A1 私なりのイメージで捉えるのであれば、以下の四点が思い浮かぶ。第一に、心を理解しあえる仲間として、共に過ごせること。第二に、物質的・身体的なものにとどまらず、社会的・精神的なものにおよぶこと。第三に、共に納得できるまで継続されること。人の生活や人生は一場面だけではない。

関わりを持つことに意味と責任がある。第四に、過程が大切であること。何かに向かつて皆が自主的に目指す過程そのものであり、結果や解答や実績が第一の目標ではない。結果の予測ではなく、常に可能性を信じ合うことによって、その行動が生まれる。

A2 一人の難病者・障害者として患者会等の活動に参加している。活動の内容は、セルフヘルプ・ピアカウンセリングの支援、医療相談会の企画（講演会やシンポジウム等）を企画し、共に学ぶ、国や地域社会の理解を促す活動（街頭演説や請願活動等）である。



大阪稀少難病者友の会代表／大阪市立大学大学院生活科学研究科博士課程在学中 梓川 一（37歳）

A1 この地球に生きるすべての人々の生きる喜びと痛みを分かち合いながら、私たちの社会のすべての人々が尊厳を持って生き、その生涯を健やかに全う出来る世界を作り上げるために、一人の「世界市民」として尽力すること。

やがて、一人の「世界市民」として尽力すること。私は心秘かに、自分自身の心に拍手を送りながら、ボランティアに微力を尽くしている。

A2 環境保全、人権擁護、エイズ撲滅、女性・児童・高齢者・住民の権利保護、緊急人道援助、平和構築、教育・国際ボランティア活動に対する支援等々。

国連ボランティア
名譽大使 中田 武仁（63歳）



A1 私は長い間ボランティア活動に對して資金援助をする仕事をしてきました。ボランティアは客観的に評価する対象であつて、自分自身が行うものではなかつた。

A2 退職して年金生活に入つてから、神戸を中心とするいくつかのNPOに理事や運営委員として関わっている。これも一種のボランティア活動だと思っている。企業実務に精通している退職の方々にぜひ参加していただきたい活動である。

市民社会研究所所長 今田 忠（63歳）

A1 近江商人のある旧家に、「積善の家に余慶有り」という家訓があるといふ。善を積み重ねると良いことがあるとの意である。

私は心秘かに、自分自身の心に拍手を送りながら、ボランティアに微力を尽くしている。

A2 移送サービス。この移送サービスのほとんどは、車椅子の方の通院である。日時が指定されているので、交通渋滞を見込んで、起床時から設定してかかる。待ち時間2時間位が普通だから、お陰で本を読む時間がタップり出来た。

摂津市ボランティア連絡協議会副会長／摂津市移送サービス「ピンチヒッター」代表者 清崎 哲次（72歳）

A1 たのしい!! 元気で一生続けたい。一方的でなく、持ちつ持たれつ、助け合いの中にボランティアがあり、お互いに楽しむ。

A2 老人福祉的活動で、老人ホーム、デイサービス、独居老人、小地域不ツトワークでのふれあいサロン、短時間でできる手芸を教えています。できた時の笑顔が楽しい。

柏原市ボランティアセンターボランティア連絡会会長 畠山 康子

A1 年金生活になり、社会へのご恩返しのつもりで活動に取り組んでいますが、試行錯誤が続いている、経済的な負担と時間の制約に悩む昨今です。

A2 点訳サークルとしての市政広報誌の完全点訳が30%、大阪物点訳の資料調べが30%、連絡会活動が40%ぐらいの割合でしようか。いずれも相互理解のために活動記録の作成に努めています。

河内長野市ボランティア連絡会点訳サークル代表

宮田 信直（66歳）

A1 年金生活になり、社会へのご恩

A 人が人として暮らしづらい世の中になることを誰もが願っています。ほんの少しの手助けで、チャンスが生まれる。生きることのヒントも生まれる。共感しあえる仲間の輪も広がる。やがて、ドラマの主人公とまではいかないとしても、スポットライトを浴びながら、それぞれの人生を謳歌できたら素晴らしい。

A2

2000年11月11日。オーストラリアシドニーオペラハウスでハンディキャップの人たちを中心とした第1回シドニーオペラハウス音楽祭を開催することができました。このコンサートを通じて、障害があるなしに関わらず、国際交流や文化交流のお手伝いをすることの大切さを実感することができます。さあ、21世紀です。皆さんと地球散歩をしましょー！

大阪国際交流運営委員会事務局長

岸本 義昭（47歳）

A1

人が人として暮らしづらい世の中になることを誰もが願っています。ほんの少しの手助けで、チャンスが生まれる。生きることのヒントも生まれる。共感しあえる仲間の輪も広がる。やがて、ドラマの主人公とまではいかないとしても、スポットライトを浴びながら、それぞれの人生を謳歌できたら素晴らしい。

A2

仕事柄、子どもたちと共に手話、点字、特別養護老人ホーム訪問などの活動をする一方、障害をもつたたくさんの方に会い、たくましく生きておられる姿や話を聞かせていただいている

A1

言葉を獲得するのに10年かかった方と知り合いになりました。その方に会うたびに、素敵な笑顔と「私も頑張ります」という活力をいただきます。ボランティアとは、与えるものではなく与えられるものだと思いま

A1

言葉を獲得するのに10年かかった方と知り合いになりました。その方に会うたびに、素敵な笑顔と「私も頑張ります」と、泉大津保健センターの機能訓練の一環である趣味の会の方たちに手紙を指導しています。味のある個性豊かな自分の絵が描けるよう、季節を感じるモチーフで皆さんと一緒に楽しんでいます。

藤井寺市立藤井寺小学校勤務

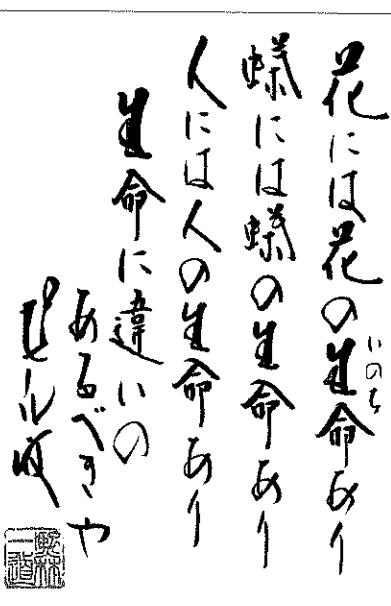
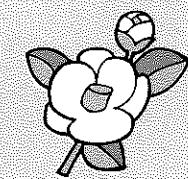
荻山 茂代（51歳）

泉大津ボランティア連絡会親睦ボランティアあめんぼ／泉大津健康プラザ・泉大津保健センター絵手紙講師

龜高 恵子（66歳）

A2

考えも生活も異なる多くの人たちに接することにより、驚いたり、感心したり、落ち込んだり、喜んだりといいます。私には、日々動いている社会との大きなパイプラインとなっています。



特定非営利活動法人 国際友好協会事務局

田中 文乃（43歳）



A1 来年3月に予定している、日本の中学生と北京の学生との野球交流試合に向かって準備をしている。国際友好協会の理事長が1999年、北京の子どもたちに野球用具を寄付したことでも現実の運びとなつた。

タレント（劇団東京新喜劇所属）
ポール牧

泉州

一歩踏み出した連絡会づくり 気づいた者から考え方よう

人と人とのつながりの大切さを改めて実感

泉州ブロック交流会報告

で開催されています。

「ボランティア連絡会って何するの？」
「自分たちの活動だけでも大変なのに、連絡会をつくって運営していくの？」

これらの事業はボランティアの育成及び活動を効果的に行えるよう、センターの運営に関する諸事項の決定や処理を行っているボランティアセンター運営委員会で審議され、それがボランティアグループ代表者会議に提示されるといつた感じです。

本来自分たちがしなければならない

ことを社協に任せっきりにしていては何も生まれてこないのでないだろうか」と気づいた者が、泉州ブロックの連絡会交流会に参加したり、高石市ボランティア連絡会に見学に伺うなど、アがつくるボランティアのための情報活動をより広く、よりわかりやすく知つてもらうことを中心に、ボランティアがつくるボランティアだより岸和田」を発行しています。最初は行事やグループの紹介など、報告のような記事が多くつたのですが、何回か編集を重ねていこうち、これではいけないと反省し、今ではできるだけ編集委員が足で稼ぐ記事づくりをモットーにがんばっています。

また、ボランティア同士の交流の場を設け、それぞれの活動にプラスによるよう、そして、もっとボランティア活動を市民の方々に知つてもらいたいとの思いから、平成10年12月から偶数月の第3土曜日に「ボランティアサロン」が開催されるようになりました。加えて、年に一度、「ボランティア研修会」がボランティアセンターの企画

平成12年9月29日（金）に、泉大津市

福祉センターで6市3町から45名が参加して、泉州ブロック交流会を開きました。前半に大阪府ボランティアセンターの森所長に大阪府市町村ボランティア連絡会の意義について話して頂きました。続いて各自の自己紹介と活動報告をしながら情報のやりとりをしました。

後半は大阪国際女子大学の後和先生の講演で、「健康情報の功罪について」を聞きました。

森所長は、「阪神淡路大震災の時の支援活動の経験から、つながりのある人が集まると活動しやすいと思いま

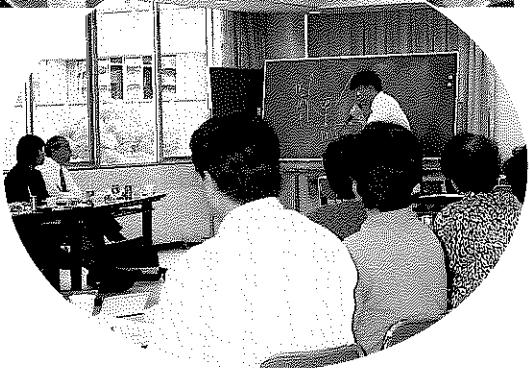
した。年に1回でも2回でもボランティアが顔を合わせる場として連絡会がある交流できれば」と話されました。日常の活動でも人ととのつながりは大切だと思うので、連絡会の話には一同納得。しかし、情報のやりとりを具体的に話し込むには、時間と工夫が足りませんでした。反省。

私たちが活動するためには、本人は勿論のこと、家族も健康でないと続けられません。講演は、その時々に変わることにより出会いがあり、横のつながりも広がり、一つのグループでは解決のつかないような問題でも、みんなで考え、いい解決方法を見出せるような組織づくりができるいいのと思っています。

多くのグループが連絡会づくりに賛同してもらえるように、準備委員一同努力していきたいと思います。

（岸和田市ボランティア連絡会準備委員会

副委員長 大井 順子）





河南

各市町村持ち回りで開催している河南ブロックの交流会で、各地をお訪ねすると、やはりその地ならではの持ち味というか特徴を知ることができ、参考になることがあります。

11月15日(水)、太子町の総合福祉センターに、11市町村と大阪府ボランティアセンターの森所長・門林さんを含めて44名が集いました。太子町社協の森脇局長、同ボランティア委員会(ボラ連)の津田委員長から歓迎の言葉、森所長と河南ブロック担当の中島副会長(東大阪)の挨拶に続いて、各市町村から自己紹介と現況報告という運びでしたが、現況報告を遠慮されるところが多く、やはり簡略で

もペーパー提出を併用すべきかと感じました。地元太子町と東大阪市からは参考資料をたくさんいただきました。メインテーマは「介護保険制度のグレーブーンとなる高齢者へのボランティア活動」で、太子町での取り組みが紹介されました。

会場の福祉センターが活動展開の場なのですが、花づくりや音楽・介護用品など各種のボランティアグループも「施設ボランティア」の役割を兼ねていて、定期送迎バスでのお世話や、クリエーション・調理・手芸などに活躍されているとのことです。同センタ



グレーブーンの高齢者にも援助活動を

河南ブロック交流会報告

ーはステージ付き多目的ホール・調理場なども広く、喫茶コーナーやくつろぎコーナーもあって、お年寄りにもボランティアにも快適な環境です。そして、その活動はお寺などを借用して地域にも及び、小地域ネットワークに直結しています。

太子町社協の理事・評議員の皆さんには、それが地元では福祉委員であり、町内のキーパーソンなのだとのご

説明に、私などショックを受けました
が、社協がリーダーシップをとれる下
地がしっかりと設定されているという感
じです。
(河南ブロック広報担当 富田 信直)

介護保険制度が適用されないグレー
ブーンの高齢者に対する援助活動の、
ひとつのモデルをしっかりと学んだ交
流会になりました。



河北

ねんりんピックに 手作り介護用品を出展

門真市ボランティアグループ「若葉会」

平成12年11月4日・5日に門真市のなみはやドームで行われたねんりんピック水泳交流大会の開発コーナーに、手作り介護用品の作成を行っているボランティアグループ「若葉会」が出展。

当日は、いつも介護用品の展示・販売を行うときよりも多くの品物を用意していたのですが、初日の4日から予想以上の売れ行きで、会員さんが追加で介護用品を作りに作業所まで帰らなくてはならないぐらいでした。

ビーズマットなどの小物を中心とした介護用品が特に人気で、用意していった半分以上は初日の午前中には売り切れ。翌週には市の文化祭にも出展する予定でしたが、ねんりんピックでほとんどの在庫がなくなり、うれしい悲鳴をあげていました。



北摂

**意義のある
ネットワークづくりを目指して**

北摂ブロック交流会報告

11月14日（火）、農

中市立福祉会館にて
北摂ブロック交流会
が開催され、7市3

町から約30名の参加がありました。

豊中市社協ボランティアセンターの概要と豊中市社協ボランティア団体連絡会の活動状況の報告、大阪北生協「ともしびボランティアグループ」と市社協登録ボランティアグループ「豊中アッショ」より活動報告が、また市社協登録ボランティアグループ「さわやか」の指導のもと、歌や体操でリフレッシュしました。

豊中市の団体連絡会は、平成4年、情報交換の場やボランティアの啓発を目的に結成され、今ではボランティアフェスティバル、ヒューマンカーニバルの開催、ボランティアグループ紹介パンフレットの作成など、活動に広がりを見せてています。また豊中には黄色い体にクリッとした大きな目が愛らしいキャラクター「ボランちゃん」があります。高齢の方が多いボランティアの中に明るさが生まれた！との事。

このような団体連絡会活動の評価であります。高齢の方が多いボランティアの中でも活躍する場ができる」と報告がありました。連絡会の必要性については、「社協の提案で」、「自ら会の必要性を感じて」など、発足の経緯はさまざま。

大きな目標をもち、情報交換や横のつながりの必要性を感じて続けてきた連絡会という組織。連絡会の形は様々ですが、「最近、本来の活動以外に仕事が増えてしまった」、「動員が多くて」「最近マンネリ化してきた」という声も聞えできます。意義あるネットワークづくりを目指して、この機会に一度ボランティア連絡会を振り返つてみようとした（次回は豊能町で開催される予定です）。

ねんりんびっく2000大阪協賛

豊中

ヒューマンカーニバルに8,000人

11/3(祝)千里中央



11月3日、千里中央せんちゅうばる北広場で、昨年結成された企業・団体ボランティアネットワークとよなか（運営委員長・松井淳太郎、以下Vネットとよなか）と豊中市社会福祉協議会（会長・北村要）の主催で催されました。当日は天気に恵まれ、障害者福祉作業所の店や、ふれあいステージとしてセラピードッグのデモンストレーション、車イス社交ダンス、チャリティオークション等、またボランティア体験コーナーやVネットとよなかによるチャリティバザーも行われ、家族連れなど8,000人でにぎわいました。企業とボランティア、そして当事者が手をつなぎ、交流し、福祉を発信した一日でした。



書き損じハガキを
送ってください

大阪南ユネスコ協会では、世界寺子屋運動（僻地農村の人々が無償の教育を受けられるための活動など）に取り組んでいます。皆さんの書き損じハガキが、アジア各国に識字学校を建てたり、その運営費用などに活用されます。書き損じた年賀状や挨拶状、投函しないままの出席通知や返信ハガキなどを左記までお送りください。

541-0048

大阪市中央区瓦町4-3-2 本町UMビル3F

大阪南ユネスコ協会

TEL 06-6221-2935

FAX 06-6202-1626



3

身障者とともに舞台芸術創造を! 3月公演のスタッフ募集

活動内容: 身体障害者・児の生活介助、ガイド、接客、電話対応
日 時: 2001年3月21日(水)~3月25日(日)
 10:00 ~ 22:00
場 所: 扇町ミュージアムスクエア（大阪市北区）
沿 線: 地下鉄谷町線 扇町駅 徒歩10分
募 集 対 象: 専門学校・短期大学・大学生、成人(概ね10~50歳代)
 *公演当日の食事は用意します
問 合 せ 先: TEL 06-6320-0344 FAX 06-6320-0344
 E-MAIL taihen@japan.email.ne.jp
 イマージュ／劇団変態(担当/井上朋子・坂田京子)
申込締切日: 3月20日

4

お年寄り好き、集まれ! 福祉系NPOのデイサービス活動です

活動内容: 福祉系NPOによるデイサービスでの要介護等、高齢者との話し相手、車いす介助、調理など
日 時: 水曜日、土曜日、日曜日で月1回以上、9:00 ~ 18:00で3時間以上
場 所: 特定非営利活動法人ナイト・ケア吹田
 (吹田市山手町3-23-23)
沿 線: 阪急千里線 豊津駅 徒歩7~8分
募 集 対 象: 高校生以上、成人(概ね10~60歳代以上)、初心者歓迎
費 用: 食事は団体で用意(但し、初回のみ自己負担)。
 交通費自己負担
問 合 せ 先: TEL 06-6337-8112 FAX 06-6337-7020
 特定非営利活動法人ナイト・ケア吹田
 (担当/末富 峯子)
 *高齢者と楽しく過ごせる方を求めています

5

日曜行事のボランティア募集

活動内容: 車いす障害者の月1回の日曜行事(外出レクリエーション、料理、交流会、生活座談会)の送迎介護と身辺介護(食事・トイレ)。障害者と交流し、一緒に楽しんで下さい
日 時: 月1回日曜日(概ね第1日曜日)
 10:00 ~ 18:00(場合により変動有り)
沿 線: JR阪和線 三国ヶ丘駅 徒歩5分、南海高野線
 三国ヶ丘駅 徒歩5分
募 集 対 象: 専門学校・短期大学・大学生、成人(概ね10~50歳代)、初心者歓迎
費 用: 参加費 500円(参加手当あり)
問 合 せ 先: TEL 0722-44-8161 FAX 0722-44-8161
 堺・自立をすすめる障害者連絡会
 (担当/武田 美奈子)

Vクリッピングボード

ボランティアをやってみたい!
そんなあなたに耳寄りな情報満載



さあ、ボランティアしよう!

〈ご利用にあたって〉

ボランティア活動へ参加を希望される方は、事前に各団体にお問い合わせの上、条件等を話し合ってから、参加してください。

●このコーナーに記載の情報はホームページでもご覧になれます。

<http://www.ovn.gr.jp/>

1

野外活動施設でのボランティア! 子どもにキャンペーンや遊びを

活動内容: スタッフの補助、イベントの企画、野外活動・講座等の参加、宿泊施設を利用する団体のプログラム指導の助言、物品貸出し
日 時: 春休み、夏休み、土曜・日曜を中心に年間を通じて。日帰り(9:00 ~ 16:00)、宿泊(14:00 ~ 翌15:00)
場 所: 大阪市立信太山青少年野外活動センター
 (和泉市伯方町3-12-86)
沿 線: JR阪和線 信太山駅 徒歩20分
募 集 対 象: 専門学校・短期大学・大学生、できれば2年以上活動できる方が望ましい
費 用: 交通費は支給。謝礼あり
問 合 せ 先: TEL 0725-41-2921 FAX 0725-41-2963
 (担当/藤原)
申込締切日: 定員になり次第締め切ります

2

視覚障害者、墨字読書困難な方々に 声でいろいろお手伝いして下さい

活動内容: 音訳
日 時: 毎週金曜日 10:00 ~ 12:00
場 所: 障害者福祉センター(箕面市西小路3-9-2)
沿 線: 阪急箕面線 箕面駅 徒歩15分
募 集 対 象: 成人(概ね10~50歳代)、初心者歓迎
費 用: 交通費実費
問 合 せ 先: TEL 06-6849-0231 FAX 06-6846-4498
 大阪北生協 組合員活動部
 *詳細はお気軽にお問合せ下さい

自動車保険が さらにお安く なりました!

自動車保険
<耳より情報>

新登場!

「福祉車両割引」

「かけ金が戻る自動車保険」



モビリッヂ

3年間無事故の場合、最大で掛け金総額の42%^(※)
が戻ります。(等級により異なります)

安心 代理店

◆ 住友海上

お得!!

- ①社会福祉車両割引^(※)により、確実にあなたの保険料が
お安くなります!
- ②もどりッヂなら、保険期間中の事故件数が2件以内の場合、
掛け金が戻ります。

便利!!

- ①社会福祉車両割引は、法人、個人を問わず適用できます。
- ②もどりッヂは、3年の長期契約ですので1年ごとのご継
続手続きは不要です。

安心!!

- ①専任事故処理スタッフが、万一の際も万全の事故対応!
- ②24時間受付のフリーダイヤルで、
いつでも、どこでも事故受付! (0120-188924)
イチハヤクツーホーネン
事故受付の翌営業日に、担当の事故サービススタッフよりお電話いたします。

※社会福祉車両とは、身体障害をお持ちの方や高齢者の方のために、補助装置を取り付けて改良さ
れた自動車のうち、当該自動車の消費税が非課税となるものです。

お申込み、お問い合わせは…

各種損害保険・生命保険取扱 島本保険事務所

〒541-0054 大阪市中央区南本町3丁目5番14号 有楽ビル3階
TEL: 06-6252-4520 FAX: 06-6245-4686